



～全回答者（138先）の99%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。3か月先の無担保コールON金利予想では前回倍増した「上昇」の見方が減少し、現状対比「不変」の見方が増加。また、国債金利予想においては、依然として回答者の大半が「上昇」の見方を示している（2年国債で6割超、10年国債で7割超）。

【調査の総括】

- 今回のMPMでの政策変更について、全回答者（138先）の99%が「不変」を予想。緩和を予想する先は全体の1%で、引締めを予想する先はなかった。
- 3か月先の無担保コールON金利予想は、前回調査時に倍増した「上昇」の見方が一転し、前回対比で減少（55% → 38%）。現状対比「不変」の見方が増加（40% → 61%）した。「低下」を想定する先は全体の1%（前回比▲4%）であった。
- 3か月先の国債金利予想では、依然として回答者の大半が「上昇」を想定（2年債：76%→63%、10年債：77%→74%）。「不変」の見方は増加（2年債：22%→36%、10年債：21%→25%）。「低下」の見方はわずかであった（2年・10年ともに全体の1%）。

【調査の概要】

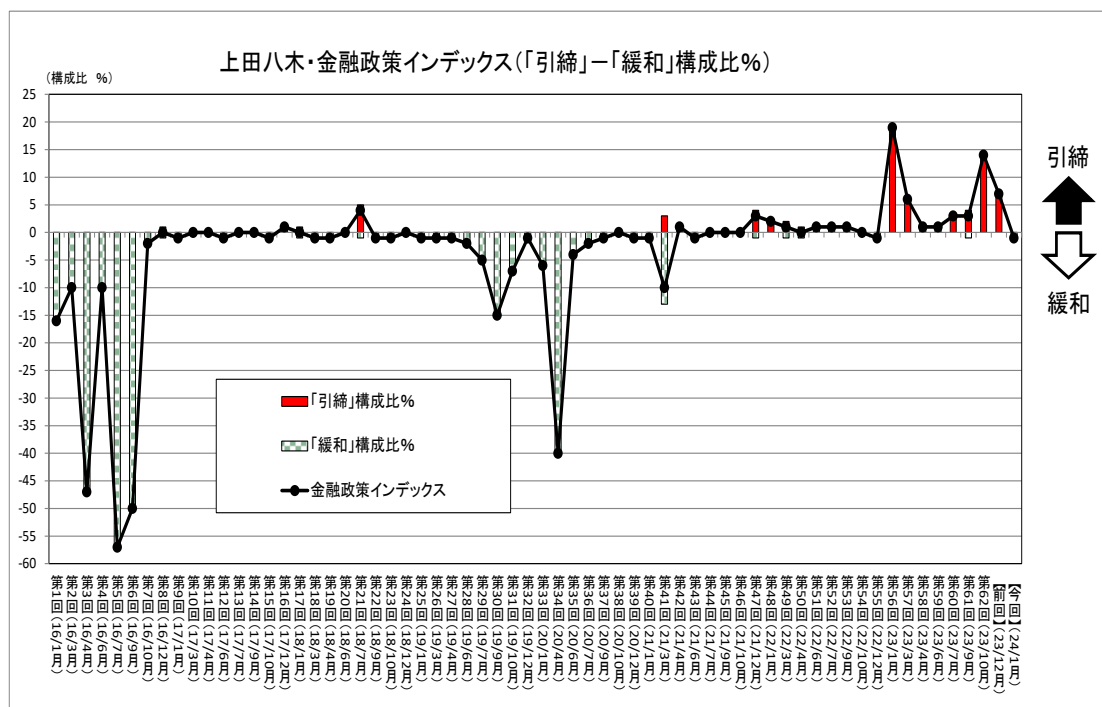
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者（154先）
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2024年1月16日～18日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	89.6% （回答者数138先 < Q 1 における回答者数 >）

【調査の結果】

(Q 1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（1月22日～1月23日）における決定について

回答者の99%が「不変」の見方。「緩和」の見方は1%。「引締め」は、0%。

上田八木・金融政策インデックス（「引締め」－「緩和」構成比%）は、「▲1」（前は7）であった。



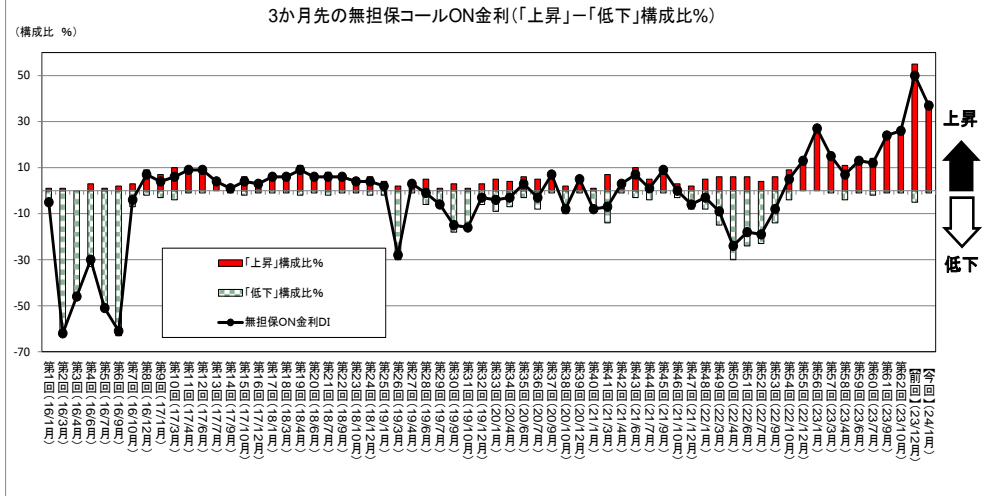
(Q 2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の38%が「上昇」と予想、1%が「低下」を予想、「不変」とみている先は61%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲1.7%ポイント(前回5.5% → 今回3.8%)。

「低下」とみる先は▲4%ポイント(前回5% → 今回1%)。

「不変」とみる先は+2.1%ポイント(前回4.0% → 今回6.1%)。



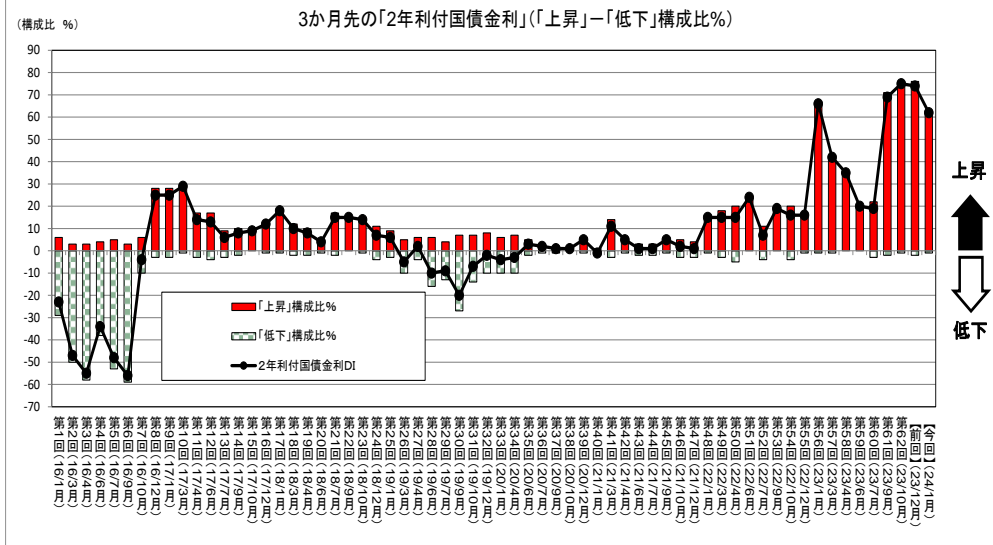
(Q 3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の63%が「上昇」を予想、「低下」とみる先は1%で、「不変」を予想した先は36%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲1.3%ポイント(前回7.6% → 今回6.3%)。

「低下」とみる先は▲1%ポイント(前回2% → 今回1%)。

「不変」とみる先は+1.4%ポイント(前回2.2% → 今回3.6%)。



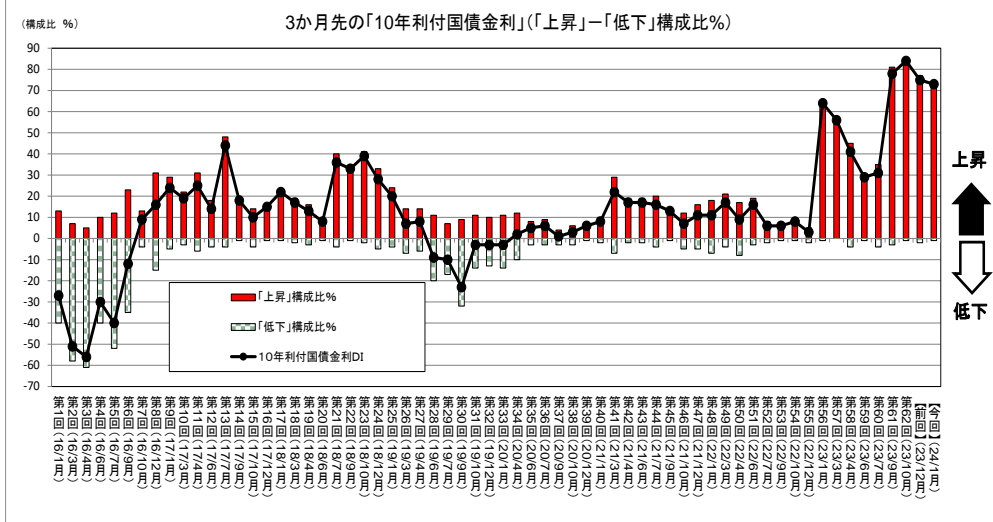
(Q 4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の74%が「上昇」を予想、1%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は25%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲3%ポイント(前回7.7% → 今回4.7%)。

「低下」とみる先は▲1%ポイント(前回2% → 今回1%)。

「不変」とみる先は+4%ポイント(前回2.1% → 今回6.1%)。



【調査結果の詳細】

調査日	2024年1月16～18日
調査先	154先
回答率	89.6%

（Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（1月22日～1月23日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回12月15日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	0	+1
不変	99	93	+6
引締	0	7	▲7
<hr/>			
上田八木・金融政策インデックス（「引締め」-「緩和」構成比%）	▲1	7	▲8

（Q2）3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月15日)	変化幅
低下	1	5	▲4
不変	61	40	+21
上昇	38	55	▲17
<hr/>			
短期金利予想DI	37	50	▲13

（Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月15日)	変化幅
低下	1	2	▲1
不変	36	22	+14
上昇	63	76	▲13
<hr/>			
2年国債金利予想DI	62	74	▲12

（Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月15日)	変化幅
低下	1	2	▲1
不変	25	21	+4
上昇	74	77	▲3
<hr/>			
10年国債金利予想DI	73	75	▲2

【本調査に関する照会先】 企画部 島本、青木
(電話 03-3270-1475)

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会